

平成 22 年 2 月 9 日

「ハノイ～ホーチミン間 国営ベトナム鉄道橋梁安全性向上工事」を受注

鉄建建設株式会社（以下鉄建、本社：東京都千代田区 代表取締役社長 橋口誠之）、丸紅株式会社（以下丸紅、本社：東京都千代田区 代表取締役社長 朝田照男）、株式会社横河ブリッジ（以下横河ブリッジ、本社：千葉県船橋市 代表取締役社長 藤井久司）、Thang Long Construction Corporatoion（以下タンロン、本社：ベトナム社会主義共和国ハノイ市 代表取締役社長 ファン・クオック・ヒュー）共同企業体は、2月9日、「ハノイ～ホーチミン間国営ベトナム鉄道橋梁安全性向上工事」を国営ベトナム鉄道から受注した。工期 30 ヶ月、受注金額は 45 億 9 千万円。

本事業は、ハノイ～ホーチミン間を結ぶ 1,700km 間の老朽化した 44 橋梁の内、工事区間 230km の 10 橋梁を施工するもので、安全性を向上させることにより列車の高速走行が可能となる。残る 34 橋梁も同様に安全性向上の計画があり、44 橋梁全ての工事が完了すると、現在 29 時間かかるハノイ～ホーチミン間の列車運行時間は、約 5 時間短縮される。

鉄建は、長年に渡る国内鉄道工事のノウハウを活かし、得意とする交通インフラ分野における戦略的な海外展開に注力している。横河ブリッジは、国内最有力の橋梁建設会社で、海外工事も数多く手がけ、特にベトナム等東南アジアを有力マーケットとし展開を図っている。タンロンはベトナム国営建設業者で、鉄道橋梁工事の実績も多く、今回鉄建・横河の技術力とタンロンの現地での実績が一致した形での受注となった。丸紅は、ベトナムにおけるインフラプロジェクト及び海外における鉄道建設の実績を活かしプロジェクトをサポートして行く。

本事業は、全額 O D A の有償資金協力（円借款）によりまかなわれ、わが国の交通インフラ技術が、ベトナムの主要都市を結ぶ重要な交通機関の高速化につながるものと期待されている。

< 工事概要 >

橋梁下部工 橋台新設：18 基 補修 2 基 橋脚：新設 16 基
橋梁上部工 鋼トラス橋 径間 43m～75m 24 連 鋼床版桁 2 連
軌道改良工 6,663.0m アンダーパス 5 箇所 踏切改良 1 箇所
仮線設置・撤去 1 式(337.1m)

連絡先

東京都千代田区三崎町 2 - 5 - 3
鉄建建設（株）土木本部 海外事業部 山口俊行
TEL 03-3221-2193 FAX 03-3265-2776
鉄建建設（株）管理本部 総務部 中川郁夫
TEL 03-3221-2152 FAX 03-3264-2913

